

## 第50回 産業精神保健講演会【ハイブリッド開催】

大精診では1999年秋に産業精神保健委員会を立ち上げ、職場におけるメンタルヘルスにまつわる課題に取り組んできました。今まで、この方面に関心をお持ちの会員先生方と産業医の先生方、さらには各企業の心理相談員の方々とが一堂に会し、産業精神保健に関する研修を行い、同時に、連携、ネットワーク作りをしていくことを目的として合同研修会を開催し研鑽できたのも皆様方のご協力の賜物と感謝しております。

夏休みに入って新型コロナの感染者数はまた増加しており、まだまだ『アフターコロナ』とは言い切れない状況です。コロナ禍が長引く中、テレワークや時間差勤務、デジタル化の推進など、働き方にもたらされた変化もすっかり定着した観があります。しかし元々難しい問題をはらんでいた就業可能性、つまり働けるかどうかの判断は、働き方の多様化や合理的配慮の義務化などにより、さらに複雑に、難しくなっています。

今回は全体をシンポジウム形式にし、「法的、産業医的、精神科主治医的な『働ける』の違い」をテーマに掲げて、ナンバカギもとメンタルクリニック院長の鍵本伸明先生に、精神科医の観点からお話をいただいた後、事例をいくつか提示し、弁護士法人 淀屋橋・山上合同の白石浩亮先生に法的な立場から、大織会大織診療所理事長の清原達也先生とパナソニック健康保険組合産業保健センターの黒木和志郎先生に産業医の立場から、また鍵本伸明先生には再度精神科医の立場からコメントをいただき、さらにディスカッションにて理解を深めていきたいと考えています。また、新型コロナウイルス感染の状況によっては会場参加定員の変更や開催中止となる可能性もあることをご理解下さいませ。

### 「就業可能性の判定

～法的、産業医的、精神科主治医的な『働ける』の違い：事例検討を通じて～」

■日時：令和6年10月31日（木）18：00～20：10

■参加方法：お申込みの際に、いずれかご選択ください。※会場参加でのみ取得可能な単位もございます。（下記参照）

① 会場での参加（会場：AP大阪駅前 地下2階 APホール）

② Web 配信（上記会場からのライブ配信）

※ご選択いただいた参加方法につきまして、後日詳細をご案内いたします。

※会場での参加には定員（200名予定）を設けております。先着順とさせていただきますが、既に定員に達している場合には、その旨ご連絡いたしますのでご理解のほどお願い申し上げます。

#### ■プログラム

（敬称略）

開会の挨拶：（公社）大阪精神科診療所協会 会長／（医）悠仁会 稲田クリニック 院長

稲田 泰之

座長：（一社）関西産研 事務局長／（株）リードウェル 代表取締役（代表医師）

深井 恭佑

（公社）大阪精神科診療所協会 理事／やすだメンタルクリニック 院長

安田 究

<序論>「就労可能ということ ～精神科医の立場から」

演者：（公社）大阪精神科診療所協会 監事／

（医）伸明会ナンバカギもとメンタルクリニック院長

鍵本 伸明

<シンポジウム>「様々な立場からの『働ける』の違い：事例検討を通じて」

弁護士の立場から：弁護士法人 淀屋橋・山上合同 弁護士

白石 浩亮

産業医の立場から：（一社）関西産研 幹事／医療法人大織会大織診療所 理事長

清原 達也

産業医の立場から：（一社）関西産研 幹事／パナソニック健康保険組合産業保健センター

黒木和志郎

精神科医の立場から：（公社）大阪精神科診療所協会 監事／

（医）伸明会ナンバカギもとメンタルクリニック院長 鍵本 伸明

■参加費：関西産研・大精診・関西心理相談員会の各会員；1,000円 / その他（左記会員以外）；4,000円

※取得可能な単位：

日本医師会	認定産業医制度 生涯研修	専門（メンタルヘルス）2単位	●	【注意点】
大阪府医師会/日本医師会	生涯研修システム	2単位（CC：5）	◎	● 『会場での参加』に限って取得可能
日本精神神経学会	精神科専門医制度	C群1単位	◎	◎ どちらの参加方法でも取得可能
日本産業衛生学会	産業保健看護専門家制度	2単位	◎	(*)他府県の方には参加証をお渡します

\*\*参加ご希望者は、10月28日（月）までに下記二次元コード（又はURL）からお申込みください



お申込はこちらから ⇒



<https://daiseishin.org/mice241031>